

猶往々にして拒むべからざる程の事實である。然しながら苟も公平なる見地に在りて宗教研究に従事する程のものに取りて此三派が何れも宗教の眞髓に於て一致するの消息は、余が曾て「宗教學要論」に其嚴正なる科學的批判を試みたるにても明白なるべき筈であつて、殊に鎮西及び眞宗の宗教學的權威に就ては、通俗的敘述ながら現に前章の説明によりて讀者の容易に了解せられたるところであらう。思へ。計らひ無きところに安心が在り、それを味ひて計らふところに教義が在る。辨長の教義は、その計らひ無き安心を辨長一流の計らひによりて味へる鎮西模様であつて、彼れはその無様の安心には住して居るが、毫もその模様には住して居らぬ。證空の教義は、その計らひ無き安心を證空得意の計らひに移して味へる西山模様であ

つて、彼れはその無様の安心には住して居るが、全くその模様には住して居らぬ。親鸞の教義は、その計らひ無き安心を親鸞獨特の計らひに訴へて味へる眞宗模様であつて、彼れはその無様の安心には住して居るが、決してその模様には住して居らぬ。住するところに一致して住せざるところに相違するが故に、彼等の間には正邪を以て自他を分け隔つべき必要は固より全く無かりし筈である。然るに後代の學徒に至りては、やゝもすれば文字に明かにして宗教に暗く、いづれも祖師の住せしところに住するを知らずして、祖師の住せざりしところに住するを却て自ら得意とする。於是乎、其昔し法然上人が無義の義と説き無様の様と示し置かれし念佛はいつの間にかは終に文字の本願若しくは模様の信仰と化し、その文字とその模様と

淨土教批判

の相異れるところより各派互に正邪を以て相對峙するの外に途なきに至りしは固より當然の次第であると云はねばならぬ。只々過去は追ふべからず、現在は猶しばらく度し難し。今後幸ひにして立教七百年來の積塵を一掃し各派その祖廟に直參する新宗學を建設し得るの氣運に際會せば、これらの陋見は必ずや昨夢の如く消れて、各派互に相敬し相重んずるの和氣藹々を見るであらう。

(終)

大正十二年五月十五日初版
 大正十一年五月十五日再版
 大正十一年八月十五日再版
 大正十一年十一月十五日再版

大正十二年十月廿五日七版
 大正十一年十一月十五日八版
 大正十一年十一月十五日九版
 大正十一年十一月十五日九版

淨土教批判

定價 金壹圓四拾錢

不許複製

著者 野々村直太郎
 發行者 京都市東山線妙法院前側町
 中外出版株式會社代表者
 土岐
 印刷者 京都市間之町二條上ル
 藤澤 淨圓
 印刷所 京都市丸太町川端東入上ル
 同朋 舍

發行所

京都市・東山・中外日報社内
 電話 一七七八七番
 振替口座 大阪六四六一七番

中外出版株式會社

關東發賣所

京都市小石川區原町六
 振替口座 長野三二九四番

丙午出版社

◆ 類書發社會式株版出外中 ◆

監修

赤沼 智善 佐々木 月樵 妻木 直良
 梅原 眞隆 島地 大等 前田 祐祥
 金子 眞心 住田 榮明 南田 文雄
 京橋 彰心 杉田 前田 慧雲

新撰 眞宗聖典

編本

第一 正依經典編
 第二 宗祖撰述論
 第三 宗祖消息編
 第四 宗祖寫傳編
 第五 宗祖言行編
 第六 宗祖讀仰編
 第七 宗義傳統編

録附

第一 眞宗要義
 第二 眞宗略史
 第三 御消息目次

定價 金五圓五拾錢
 書留送料 金貳拾七錢
 菊版半裁・特渡上質紙
 總紙數一千六百七十頁
 總革裝幀三方金箱入

本派本願寺 史料編纂係 鷲尾教導著

定價 金參圓
 書留送料 金拾八錢
 菊版總精裝箱入
 實物寫眞二十一葉
 解説研究二百頁

惠信尼文書の研究

最新刊

親鸞の室惠信尼が自筆になる文書二十一通は本書著者に依り、最近に西本願寺の寶庫より発見せられたるものであるが、實に從來の記録を破れる一大收獲として史家の視聽を集中せしめるものであつた。實物寫眞全部を添えて發表せるものである。蓋し親鸞研究の第一史料として敢て推奨するものである。

◆ 類書發社會式株版出外中 ◆

龍谷大學教授 禿氏祐祥編

古代版畫集

文學士 伊勢專一郎著

藝術の本質

岩井信實著 角田素江書

明月珠

東本願寺 大谷光演著

この大災に遇りて

東本願寺 大谷光演著

同朋愛

支那朝鮮日本に亘り稀有の名品を蒐輯し該博なる研究解説を附録す

菊版上製天金箱入
 定價 金五圓八拾錢
 送料 金拾八錢

藝術に現れたる種々の美相を説盡し、藝術觀照の歸趣を示せる名著

裝版布裝天金箱入
 定價 金貳圓四拾錢
 送料 金拾錢

廣汎なる佛典から取材した教訓と趣味の充溢せる理想的童話集

四六版美麗裝箱入
 定價 金壹圓
 送料 金六錢

句佛上人が遭難の實感に依り絶對の信仰を提唱せる一大福音書

四六版美裝箱入
 定價 金五拾五錢
 送料 金四錢

同朋愛を力説せる大災後の文書傳道の絶好本多數申込は特別割引

四六版美裝上質紙
 御染筆寫眞入
 定價 金拾錢
 送料 共錢

◇ 類書兌發社會式株版出外中 ◇

家門專各 書叢典古教佛 存保典古
說解究研 行刊書稀

編六第 明義進行集 (河内金剛寺藏)	編五第 古本漢語燈錄 (今岡達音氏藏)	編四第 續選擇集文義要抄 (越前法雲寺藏)	編三第 法法然上人秘傳記 (醍醐三寶院藏) 法然上人ノ事 (高野山中院藏) 法然上人ノ秘傳 (最勤住心作)	編二第 光顯普願解頌狀 (妻木直良氏藏) 今古獨百首 (鷲尾教導氏藏)	編一第 古本一言芳談 (鷲尾教導氏藏) 祖師一口法語 (西本願寺藏)
近刊	定價金參圓五拾錢 送料金拾貳錢	定價金壹圓 送料金四錢	定價金貳圓 送料金八錢	定價金壹圓六拾錢 送料金六錢	定價金壹圓八拾錢 送料金六錢

刷印明鮮組トソイボ二十綴和紙和質上各
附添刷版真寫本原書

◇ 類書兌發社會式株版出外中 ◇

長谷川如是閑著 道德の現實性	大谷大學教授 金子大榮著 宗教的理性	文學士 丹羽正義著 歷史學概論	醫學博士 越智真逸・同千代子共著 醫學上より觀たる理想的文化生活	石川舜台著 眞宗安心の根本義
現代生活を基調とした道德の建設を高調せる著者獨自の大論策	佛教に於て理性的宗教が如何に顯れてゐるかを考究せる好著である	歴史學を一獨立科學として批判的に考察せる最新學究の結實である	學理と實際を調和せる文化生活熱愛者の指針として家庭の重要書	淨土眞宗の根本教義を開闡せる教學上の一大權威として推奨せらる
四六版上製箱入 定價金壹圓七拾錢 送料金六錢	普及版頗好評 定價金壹圓參拾錢 送料金六錢	四六版總布裝箱入 定價金貳圓 送料金拾錢	四六版絹裝箱入 定價金貳圓八拾錢 送料金拾錢	菊版絹裝幀箱入 定價金貳圓五拾錢 送料金拾貳錢

◆ 類書兌發社會式株版出外中 ◆

西光萬吉著 並裝幀
曲淨 火 (附毗琉璃王)

水平社を創始した著者の心胸を潜った火の様な人間愛の表現である

四六版上製箱入
定價金壹圓八拾錢
送料金拾貳錢

文學士 江馬 務著
日本妖怪變化史

上下三千年に亘る妖怪變化を各方面から説破した前古無比の神秘奇書

菊版和綴高雅裝幀
寫真木版等數十個
定價金貳圓七拾錢
送料金拾五錢

江馬務序 森德太郎著
風俗史研究指針

人類生活様式の變遷を知るべき風俗史並に文化研究の絶好指針

四六版版畫美裝
定價金壹圓四拾錢
送料金拾錢

大谷大學教授橋川 正著
蓮如上人の和歌

上人の豊富なる情意生活の表現たる和歌の研究として特異なる好著

菊半截
總クローズ上製
定價金八拾五錢
送料金四錢

石川舜台著
心性學說

佛教と儒教に基調し心性の大本を論じ國民の自覺を促せる一大論策

菊版絹製箱入
定價金貳圓
送料金拾錢

終

